人とつながるみどりのまちへ

4月号
Vol.41

みんなの長池

publisher-NPO フュージョン長池
2020.4.1-consecutive number of volum 106

トピックス

ー長池公園が開園20周年を迎えましたー

TOPICS
長池かいぼりレポート
出会いのコレクション
自然館通信
公園管理だより
表紙のことば

TOPICS

―長池公園が開園20周年を迎えました！！―

2020年4月、長池公園は開園20周年を迎えました。開園以来、沢山の方々に支えられ、応援いただき、また、地域の皆さんとの協働により、現在の長池公園がつくられてまいりました。長池公園に関わってこられたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。
これからも「地域に愛される公園」として、公園スタッフ一同、より一層精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
さて、前号でもお知らせをしておりました、長池公園開園20周年を記念して、長池公園自然館展示室にて、長池公園の動植物や風景の変遷、歴史や活動紹介など、20年の歩みを写真やパネルで展示する「特別展示会」と長池公園にちなんだ講師をお呼びする「特別講演会」の開催ですが、新型コロナウィルス感染症拡大防止措置のため、誠に残念ながら開催延期となりました。
延期日については未定ですが、今年度中には実施をしたいと思います。日程が決まり次第、チラシやホームページ等でお知らせをさせて頂きます。

2001年（平成13年） 長池公園自然館オープン

2006年（平成18年） 近隣中学校との姿池清掃

2006年（平成18年） 長池ぼんぼこ祭り

2008年（平成20年） カブトムシ幼虫探しイベント

1969年（昭和44年） 築池の様子

現在 築池の様子

―NPOフュージョン長池のロゴマークが決定いたしました！―

当法人設立20周年を記念して、募集いたしましたロゴマークが、決定いたしました！！
31点というたくさんのご応募をいただきまして、誠に有り難うございました。その中から、採用された皆様、本当におめでとうございます！募集期間を延長したこと、そして、選考に時間を要したことにより、お知らせが遅くなってしまったことを心よりお詫び申し上げます。
募集時には「採用１点」というご案内をさせて頂いておりましたが、甲乙つけがたい作品が複数あったこと、また、作品に応じて様々な用途（ホームページ、パンフレット、商品、名刺など）に活用させて頂くという意味で、今回、「3点」を採用作品として選ばせて頂きました。当団体を象徴する「人と自然の共生」「誰もが幸せに生きる地域づくり」「ひとまちみどりをつなぐ」というコンセプトが、非常に良く表現されていて、どれも素晴らしい作品ばかりです。是非ご覧ください！！

【採用作品No.1】
制作者：佐藤 隆一さん

制作者のコメント：
「人と自然の共存、みんなが笑顔になる地域づくりをイメージし、シンプルで親しみやすいデザインとしました。」

NPO Fusion Nagaike　NPO Fusion Nagaike

【採用作品No.2】
制作者：板谷越 湊さん

制作者のコメント：
「木が街と人をつつんでいるデザインにしました。葉っぱが頭にのっている男の子、実はタヌキなんです！」

NPOフュージョン長池

【採用作品No.3】
制作者：大川 玲央さん

制作者のコメント
「道の形はNPOフュージョン長池の“N”。親子（キッズレンジャー）のかかわりが多いので親子に。
“N”で人間と自然が繋がっている形。」

南の国からいらっしゃい！
長池公園の渡り鳥

『ひとまちみどり由木』が管理する81ヶ所の公園には、多様な動植物が暮らしています。このコーナーでは、管理作業や巡回の折に出会った動植物について、その際に撮影した写真とともに紹介していきます。

9

東南アジアなど温かい国で冬越ししていた小鳥たちが、繁殖のために続々と日本へ渡ってきます。皆さんがよくご存じのツバメも、毎年こうした大移動を繰り返しており、“夏鳥”と呼ばれています。夏鳥の多くは高原などで繁殖しますが、渡ってきたばかりの春から初夏にかけて、平地や丘陵地の小さな緑地でも観察できることがあります。
この時期、聞き慣れない小鳥の鳴き声を耳にしたら、その正体は海を越えて日本に到着した直後の彼らかもしれませんよ！
※本稿は「みんなの長池vol.27 北の国からおかえりなさい！長池公園の渡り鳥」の姉妹編です。

コサメビタキ

全身がグレーで、大きくつぶらな瞳がポイントの小鳥です。
出会う機会はそう多くありませんが、一度出会ったら忘れられないほどの可愛さです。

インド、中国南部などから来ました！

オオルリ

ゴールデンウィークの頃、新緑の雑木林を飛び回っていることがあります。
高尾山でも繁殖していることから、「八王子市の鳥」に指定されています。

スマトラ、ボルネオ、フィリピンなどから来ました！

インド、バングラデシュなどから来ました！

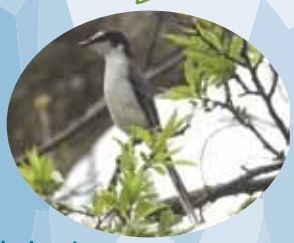
センダイムシクイ

雑木林の青葉に紛れるような背中のオリーブグリーンが印象的です。
“チヨチヨビ～～”という覚えやすいさえずりでその存在に気が付きま

ヤブサメ

“シシシシシ…”というさえずりはまるで虫の声のようです。
込み入った藪の中にいることが多く、なかなか全身を見せてくれません。

フィリピン、マレー半島などから来ました！



台湾、中国南部などから来ました！

サンショウクイ

長池公園では珍しく、初夏に短期滞在した記録が数回あるだけです。
国内で越冬する別の亜種、リュウキュウサンショウクイは観察例が増えてきました。

キビタキ

森の中から“ピッコロロ　ピッコロロ”という美しいさえずりが聴こえてきます。最近では長池公園でも繁殖しているようで、夏の間も見られるようになりました。

みんなの長池vol.27　natureかわら版「北の国からおかえりなさい！長池公園の渡り鳥」はＷＥＢでもご覧いただけます。

自然館通信

自然館でみられるサクラ

長池公園には多種類のサクラがありますが、自然館の中からもサクラを見ることができます。
ここでは自然館の周りに咲いているサクラをご紹介します。

タマノホシザクラ(多摩の星桜)

種　エドヒガン × マメザクラ(域外保護種)
旬　３月下旬～４月上旬
場　自然館・水辺観察デッキ
花　萼が星形で濃紅色、花は半開で受け咲き

ヤブザクラ(藪桜)

種　エドヒガン × マメザクラ(域外保護種)
旬　３月下旬～４月上旬
場　自然館中庭・水辺観察デッキ
花　水平に平開して咲き、直径は両親種より大きい

ゴテンバザクラ(御殿場桜)

種　マメザクラとの雑種(栽培種)
旬　４月中旬～下旬
場　自然館中庭・会議室窓際
花　淡紅色で多数つけ、花は丸く先に切れ込みがある

NPOフュージョン長池　会員入会＆寄付募集！！

NPOフュージョン長池を支援していただける方を募集しています。
皆さまからのご支援のもと、様々な事業を推進しております。

昨年度(令和元年度)は、長池公園開園以来となる「長池かいぼり事業」を実施しました(詳細は挟み込みの報告資料をご覧ください)。おかげさまで、無事に予定していた作業を行うことができました。今後は、自然の持つ再生力に期待しつつ、引き続き経過を観察してまいりたいと思います。
また、今年度(令和２年度)は、地域の子どもたち(パークキッズレンジャー)および地域の方々との協働による「環境保全事業」を中心とした支援を行う予定です。この地域に、より豊かな自然環境を未来へ残していくための事業です。地域の若い力が育つことで、自然を守る活動も持続可能なものになると考えております。
サポートの輪が広がることは、事業の大きな力になります。
より良い地域づくり、環境保全活動へのご支援をお願いいたします。
詳しくは、ホームページをご覧ください。http://www.pompoco.or.jp/

令和元年度法人会員の皆様（3月31日現在）

- 株式会社桂造園
- 株式会社斎藤造園
- 株式会社日本タスクス
- NPO法人多摩草むらの会
- 株式会社富士植木
- 株式会社苑友造園
- 社会福祉法人蕗の会
- (株)価値総合研究所

広告掲載によるご支援をいただいている法人様

株式会社　日本タスクス　八王子営業所
電気工事とネットワーク工事で地域に貢献します。
八王子市中山490-1　TEL042-679-6808 FAX042-679-6809

ご協力ありがとうございました。

公園管理だより

カエルのための池整備！

暖かい冬であっても、季節が廻ればカエルたちは卵を産みに池に集まってきます。長池公園第２デッキの池も産卵スポットとなっているのですが、大雨や上流の長池で行っているかいぼりの影響で池が泥に埋まってしまったので、キッズレンジャー(地域の小学生ボランティア)と一緒に池の掘り込みを行いました。予想していたより泥の量が多く難儀していることもありましたが、やはり子どもたちにとっては泥あそびが楽しくて仕方がなかったようです（しっかり作業もしてくれました！）。当日はヤマアカガエルの卵と成体も観察することができ、作業の意義をしっかり感じられる活動となりました。私たちはこのような活動を通じて彼らの成長をサポートしつつ、地域でのさらなる活躍に期待しています。(２月８日)

より安全な作業を目指して

緑地管理では、刈払機をはじめとする様々な動力機械を使って作業を行っています。特に、樹木の伐採や枝打ちなどで活躍する機械がチェーンソーです。便利で作業効率もアップするチェーンソーワークですが、一つ手順を間違えば重大な事故を招く危険があることも忘れてはなりません。チェーンソーを正しく安全に使用するためには、専門的な知識と技術の習得が不可欠です。そのため、公園スタッフも、労働安全衛生規則に基づく特別教育を修了した者だけがチェーンソーを取り扱っています。
今年、依然として全国で発生しているチェーンソー作業中の死亡事故削減に向け、同規則が安全基準をさらに高めた内容に改訂されました。
高速で回転するチェーンから足を守る防護衣の着用義務や、より安全に作業を行うための手順やルールについても細かく見直されています。
思わぬ事故を起こさないために、まずは新しい規則をしっかりと学び、頭と身体に叩き込んだ上で作業に取り組んでいきたいと思います。
（１月～３月）

表紙のことば

タネツケバナを除き、湿地の植物の目覚めは一様に遅い。そのなかで、とびきりの早起きさんがこのマツバスゲ。松の葉のような茎の先にブラシ状の花を咲かせ、程なく、果苞と呼ばれるカヤツリグサ科特有の果実を実らせた姿に変身する。かつては、田んぼの畔などでも見かけたこの植物。湿地の減少とともに絶滅危惧植物に仲間入りし、滅多にお目にかかれない貴重種になってしまいました。

（写真＆解説：Hideshige Uchino）

発　行　日　2020年4月1日
発　行　元　NPOフュージョン長池
（指定管理者 ひとまちみどり由木 代表団体 ）
発行責任者　田所　喬
連絡先　〒192-0363　東京都八王子市別所2-58(長池公園自然館)
TEL/042-678-4616　FAX/042-678-4647

NPOフュージョン長池　http://www.pompoco.or.jp/
ひとまちみどり由木　https://www.h-yugi.org/
NPO FUSION NAGAIKE
NPOフュージョン長池　検索
©2010　NPO FUSION NAGAIKE

長池公園

「長池かいぼり」実施しました！

長池は江戸時代から存在するため池で、下流の築池と合わせて別所地区の田畑を潤す貴重な水がめとして長く人々の生活を支えてきました。古来より、ジュンサイやコウホネ等の水草の宝庫として知られていましたが、現在では水草は消滅し、アメリカザリガニやブルーギル、ブラックバスなどの外来種が増えてしまいました。そこで昨年10月より、外来種の駆除や失われた水草の埋土種子からの復活、底泥中の窒素の除去など水環境の改善を目的として、開園以来初となる「かいぼり」を実施しました。

2019.10

例年にない大雨で、なかなか水が減りませんでした・・・

2019.11.3

「かいぼり」は生き物を捕まえただけでは終わりません。その後も、3月中旬まで水を抜き続けて池干しし、池底の泥浚いや浅場づくり、樹木の間伐などを行いました。これらの活動によって埋土種子(池底に眠っていた昔の種)の発芽が促され、かつて繁茂していた水草が復活することが期待されます。今回のかいぼりでは、ブラックバスやブルーギルといった外来魚を駆除することができました。しかし、冬の間冬眠をしていたアカミミガメやウシガエル、アメリカザリガニは、あまり捕まえることができませんでした。これらの生き物は、水草や在来種の生き物に対して悪影響を与えることが懸念されます。今後、在来種のヨシノボリやヌカエビなどの生き物を池に戻すとともに、かいぼり後の生物相の変化についてしっかりとモニタリングを行っていきます。

干上がった池底で泥浚い
泥は岸辺に敷き、浅瀬を作ります

池底の泥をトロ箱に入れて、
埋土種子を発芽させます

樹木を間伐して、水辺の日当たりを良くし、水草が育ちやすくします

捕獲された生きもの

外来種

オオクチバス(ブラックバス)：110匹、ブルーギル：395匹、ウシガエル：24匹（成体とオタマ合計）、ミシシッピアカミミガメ：2匹、アメリカザリガニ：44匹

在来種

ヨシノボリ類：8匹、コシアキトンボのヤゴ：5匹、ハリガネムシ：2匹
*特定外来生物を含む外来種は適正に処分し、一部を学生の研究活動用に提供しました。在来種は公園内の他の場所で保護し、かいぼり終了後に池に戻します。

ご協力いただいた皆さま

井の頭かいぼり隊、東京都西部公園緑地事務所、認定NPO法人 生態工房、認定NPO法人 自然環境復元協会（レンジャーズプロジェクト）、東京環境工科専門学校、東京テクニカルカレッジ、ヤマザキ動物看護大学、玉川大学、公園ボランティア、別所町会、地域の皆さま